

第2回 献体遺体を使用した 美容外科 実技講習会

日時：2024年1月22日（月曜日）



場所：東北大学医学系研究科一号館一階 解剖実習室

主催：東北大学

協力：東北大学医学系研究科 器官解剖学分野

東北大学医学系研究科 形成外科学分野

東北大学白菊会

後援：（一般社団法人）日本美容外科学会



一般社団法人

日本美容外科学会

Japan Society of Aesthetic Plastic Surgery

JSAPS

応募要項

今回の研修では新鮮凍結ご遺体を用いた手術手技実技講習会を開催致します。
4名の受講生を募集します。原則見学の募集はありません。
また、本研修会は参加費をいただき運営しております。ご理解ください。

参加費：3万円

(宿泊・朝食・夕食は各自でご用意ください)

お振込先：参加決定の通知の後にお送りする申込書類を当方にて受領の後、
東北大学本部よりお振り込み先につきご連絡申し上げます。

その他：ガウン、手術用手袋はこちらで準備いたします
講習会中、講習会後にアンケート調査に協力して頂きます
駐車場の関係で車での参加はできません。

応募資格：日本美容外科学会（JSAPS）の会員である者
日本形成外科学会の専門医資格を持つ者
日本国籍を持つもの

受講者選定法：原則先着順

定員になり次第締めきります

応募方法： e-mail にて件名を[東北大学外科手技実技講習会参加希望]とし、
< akimitsu@med.tohoku.ac.jp> まで記事項を記載の上、お送りください。

1. 氏名・氏名（ふりがな）・性別・年齢
2. 希望テーマ
3. 現在の所属病院と電話番号
4. 医学部卒業年度
5. 日本形成外科学会専門医取得年度
6. 日本美容外科学会（JSAPS）会員番号
7. その他：当該手技に関する経験数や本研修に望むこと

注意事項（良くお読みください）

- 受講者選定の後、結果を後日メールにてご連絡いたします。
- 申込書類3種を上記メールに添付しお送りいたしますので、記載の上、速やかに当方までご郵送ください。
- 申込書類を当方にて受領の後、東北大学本部よりお振り込み先につきご連絡申し上げますので速やかにお振り込みください。
- 指定の期限内にお振り込みが無い場合は次点の方に受講する権利が移ります。
- 領収書は参加時にお渡しします。（事前に必要時はお相談ください）

受講生が写真を撮影することは原則禁止です。

献体者に対する尊厳・感謝を損なう行為は厳に慎んでください。

受講者全員に守秘義務・写真撮影に関する誓約書を提出していただきます。

本研修会は御献体して頂く皆様、器官解剖学教室のスタッフ、運営者スタッフの献身に支えられています。今後も継続して行うことができるように、参加者の皆様のご協力をお願いいたします。

本講集会は「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン-日本外科学会・日本解剖学会」に従って計画され、東北大学医学系研究科 IRB の承認を受けて行われます。また、厚生労働省の「令和5年度実践的な手術手技向上研修事業」の一環として行われます。

スケジュールおよび募集人数

2024年1月22日月曜日 9:00-17:30 受講生4名

講師：松井 千裕（順天堂大学 形成外科）

今井 啓道（東北大学 形成外科 教授）

菅原 康志（自治医科大学 形成外科 客員教授）

田牧 聡志（ティーズクリニック 医院長）

- 本年度も献体の準備など全面的支援をして下っている器官解剖学分野の要請で平日の開催になっております。ご理解をお願いします。

Syllabus

Seminar on Aesthetic Plastic Surgery

2024/1/22

目的： 形成外科の中で特に美容外科領域は、日進月歩で常に先進性が求められ最新技術が導入され発展している。また美容外科が扱う顔面という部位は複雑な解剖学的構造を有する部位であり、その手技の一つ一つに繊細で高度な技術が必要とされる。一方でこの分野は On-the-Job Training (OJT) の機会自体が少ない上、手技の複雑化や技術伝達の困難さがあり手技の教育には困難を生じていた。このプログラムでは、形成外科専門医を対象とし、美容外科医として扱う頻度の高い手術手技を実習することで、参加者が手技を取得し精通できることを目標とする。1 献体に 2 人の受講者とする。

(担当講師：松井千裕、今井啓道、菅原康志、田牧聡志、使用遺体数 3 体 (内 1 体はデモ用)、座学及び実習)

それぞれのコースについての座学を10分程度行った後、実習を行う。

9:00 - 12:00

フィラー (担当講師：松井、今井、菅原、田牧)

まず座学にてフィラーの手技に必要な基本解剖・基本手技について学び、その後献体の顔面を上に向けた状態で固定し実習を行う。受講者は2人一組となり、1 体の献体を用いて実習を行う。ヒアルロン酸を模したエコーゼリーを顔面のそれぞれの部位に注入し、その後展開し皮下の解剖を確認する。合併症を避けるための正確な手技の習得を目指す。

12:00-13:00 昼食

13:00 - 17:30

Preservation rhinoplasty (担当講師：今井、菅原、田牧)

献体の顔面を上に向けた状態で固定し実習を行う。

受講者は 2 人一組となり実習を行う。

どちらか一方が術者となりオープンアプローチから Subpericondrial dissection を行い、high septal strip、鼻骨骨切りを行い let down/push down を行い hump・斜鼻修正の手技の習得を目指す。